

チーム防災
多摩

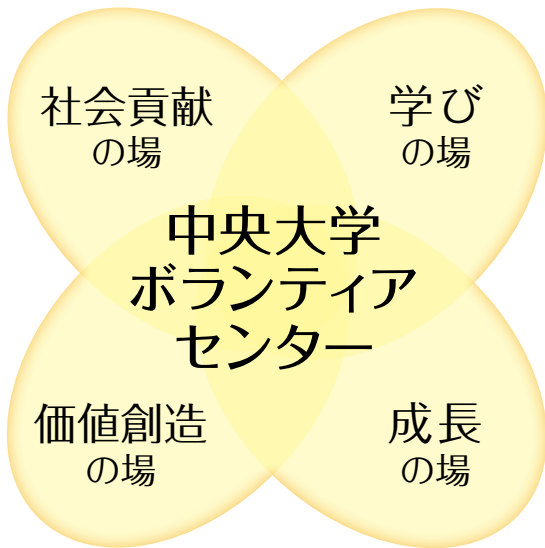


はまぎくつぼみ
岩手県宮古市

中央大学 2019 ボランティアセンター



& ボランティアセンター公認学生団体パンフレット



りこボラ!
後楽園



チームくまもと
熊本県西原村



面瀬学習支援
宮城県仙沼市

<INDEX>

P2 ボランティアセンター紹介

専門のコーディネーターが学内外のボランティア情報を集め、ボランティアをしたい学生のサポートを行っています！それぞれに合った活動を探すためのイベントや、活動に必要な知識やスキルを学ぶ講座も開催します！

P4 地域と被災地のボランティア活動紹介

多摩キャンパス周辺および、西日本豪雨水害被災地などでのボランティア活動について紹介します。

P5 ボランティアセンター公認学生団体紹介

東日本大震災や熊本地震被災地、キャンパス周辺地域で活動する6団体を紹介します！

P8 年間スケジュール表、学生スタッフ募集など



メーリングリストに登録しよう！

学内外のボランティア情報をお届けします。ボランティアセンターのHPまたは左QRコードから登録できます。
<http://www.chuo-u.ac.jp/usr/volunteer/candidate/can03/>
登録アドレスは大学からのメール(~@tamajs.chuo-u.ac.jp)が届くよう設定して下さい。



チーム女川
宮城県女川町

ボランティアで 世界を変える、自分を変える

多くの中央大学生が東日本大震災や熊本地震、西日本豪雨水害の被災地、多摩・後樂園キャンパス周辺地域、また海外に飛び出し世界中でボランティア活動を行っています。以下のような想いでボランティア活動に取り組みたいと思っている中央大学生を、ボランティアセンターは応援します！

■ 関心あるテーマについて社会貢献したい。現場で学びたい。

被災地支援や防災、人口減少、子どもの貧困、環境問題、国際的な紛争と難民問題など、現代社会の様々な問題を、ボランティア活動を通して学ぶことができます。ボランティアは中央大学のユニバーシティ・メッセージ「行動する知性。」を育む実践です。

■ 同じ目的に向かって取り組む仲間が欲しい。いろいろな人に出会いたい。

大学生の仲間はサークル活動で、学外の人とはアルバイトで出会いますが、ボランティア活動では課題解決や新たな価値創造のため、大学生同士や、様々な立場の社会人（地域住民・行政・企業など）と対等なパートナーシップで活動する経験ができます。それこそが、ボランティア活動ならではの魅力です。

■ キャリア形成のステップとして社会経験を積み自分を成長させたい。

就職活動の際にボランティア活動の動機や、その過程で自分がどう成長したのか、どんな成果があったのかを説明することで、「主体性」や「社会貢献意欲」をアピールできます。また活動を通して身につく「傾聴」などのコミュニケーション能力や、リーダーシップもキャリア形成に役立ちます。

中央大学ボランティアセンター(CVC)を利用しよう！

「そもそも、どんなボランティア活動があるのか分からない。どうやって探したらいいんだろう？」
「海外ボランティアをしてみたいけど、どこにどうやって申し込んだらいいの？費用はどれくらい？」
「ボランティアしてみたいけど、不安なことがある」という方は、ぜひボランティアセンターにお越しください。

■ コーディネーターに相談してみよう！

ボランティアセンターには、専門のコーディネーターがいます。ボランティア情報の提供をはじめ、ボランティアの心得や活動に対する不安など何でも相談に応じます。

■ 情報を探して申し込んでみよう！

ボランティアセンターでは、様々な市民団体や施設・NPO等からのボランティア情報を、探しやすいようにファイルに整理しています。おすすめ情報は掲示しています。やってみたい活動を探しに来てください。

■ メーリングリストに登録しよう！

学内外のボランティア情報をいち早くお届けします。登録を希望する方は、ボランティアセンターのHPから登録してください。右のQRコードからも登録できます。
<http://www.chuo-u.ac.jp/usr/volunteer/candidate/can03/>



■ 必ずボランティア保険に加入しよう！

ボランティア活動の際、自分がケガをしたり相手にケガをさせる可能性があります。また家屋や道具を破損する場合があります。そうした事態に備えるために、必ずボランティア保険に加入しましょう。

ボランティアセンターのプログラムで自分にあった活動に出会おう!

ボランティアセンターでは、以下のような様々なプログラムを開催しています。
参加して、自分にあったボランティア活動を見つけましょう!

■ イベントや講座で自分の興味にあったボランティアを探そう!

自分にあった活動に出会えるイベント盛りだくさん

お昼休みにボランティアについて、カフェにいるように気軽に話せる場が「ボラカフェ」。実際に活動した中央大学生と、ランチしながらお話ししましょう!

また学外のボランティア団体やNPOでの中央大学生の活動を紹介する「ボランティアフェア」や、夏休みや春休み等の長期休みを利用したボランティアを紹介する「ボランティアセッション」等も開催します!



お昼休み開催のボラカフェ

ボランティアに関する課題やスキルを学ぶ講座

「地域を巡るバスツアー」「傾聴講座」「災害救援ボランティア講座」など、ボランティアで向き合う課題や、活動に必要なスキルを学ぶ様々な講座を企画しています。



地域を巡るバスツアーで
田植体験

■ 身近なところで気軽にボランティアを始めてみよう! ゴミ拾い活動「中央大学クリーン作戦」の参加者募集

クリーン作戦は、大学構内や周辺のゴミ拾い活動。「ゴミを拾うことで目に見えて地域が綺麗になっていく手応えが感じられる」「一緒にゴミを拾うことで仲間と達成感が味わえる」など、楽しさが口コミで広がり、少しずつ仲間が増えています。

地域の皆さんと交流しながら実施したり、学年学部を越えた学生同士の交流や、地域の方々との新たな出会いも魅力のひとつです。

開催日 多摩キャンパスでは年2回(春と秋)実施。後楽園キャンパスでは6月実施予定。不定期で昼休み(ミニッツ)にも実施。

◎開催日時情報は、メーリングリストや掲示板、Facebook、Twitterなどでお知らせします。



後楽園での
クリーン作戦



多摩での
クリーン大作戦・
春の陣

学生ボランティア団体に参加してみよう!

継続的に活動に取り組むには、学生ボランティア団体に入るのがおすすめです。

中央大学ではボランティアセンターが公認する「公認学生団体」があり、東日本大震災や熊本地震の被災地、キャンパス周辺地域で活動しています。また、その他のボランティアサークルも多数あります。自分にあった団体を見つけたい方は、ボランティアセンターにご相談ください。

P5からボランティアセンター公認学生団体を紹介!

大学生が地域の力に!

地域ボランティアで地元の魅力を発見しよう!

キャンパス周辺地域でボランティア活動をやってみませんか? 環境保全、農作業をはじめとする活動から、子どもやお年寄り、障がいのある方々との活動など、大学生の力が必要とされるボランティアもいろいろあります。ぜひ一緒に地域を盛り上げませんか?



① ユギ里山

東京都が指定する「堀之内里山保全地域」で里山の風景を守るべく、農作業のお手伝いをしています。



② せせらぎ農園

多世代・様々な方々が好きな時に集って農作業を楽しむ「コミュニティ・ガーデン」で農作業を行います。



③ 大豆プロジェクト

国産大豆を学校給食に提供するため、日野市役所や地域の皆さんと一緒に大豆を育てるお手伝いをしています。



④ 落川交流センター

「防災活動を日常に」と、地域コミュニティに根付いた炊き出し訓練を毎月行っている地域づくりの拠点です。



被災地の復興を支援しよう!

日本各地の被災地で学生の力が求められています!

中央大学ボランティアセンターのルーツは2011年に発生した東日本大震災。その後、熊本地震の被災地支援も行っています。

2018年の西日本豪雨水害に際しては夏休み等に多くの中央大学生が被災地でボランティア活動を行いました。また「災害ボランティア心構え講座」等を開催し、新たな自然災害の発生にも備えています。現在は岡山県倉敷市真備町で、仮設住宅支援に取り組みはじめています。

★ボランティア情報は、メーリングリストや掲示版、FacebookやTwitterなどでお知らせします。

① 災害ボランティア心構え講座

被災地でボランティア活動を行う上での安全の確保や、被災者の方と接する心構え等について座学とグループワークで学びます。



② 家屋整理・泥出し

被災した家屋で、汚れてしまった家具を運び出したり、入り込んだ泥を出すなどの活動を行います。



③ 足湯ボランティア

避難所や仮設住宅で、足湯を行ってほっとしてもらいます。向かい合ってお話することで、生活支援のニーズをお聴きします。



④ 仮設住宅でのサロン活動

現在、岡山県倉敷市真備町の仮設住宅で継続的な支援を実施中です。足湯や折り紙をしながら住民の方々同士の交流を促進し、孤立を防ぎます。



被災地 東北

はまぎくのつぼみ

はまぎく魂は宮古とともに
～つながりの創造～

理念

私たち「はまぎくのつぼみ」は岩手県宮古市を拠点にして活動をおこなっています。

今年で震災から8年が過ぎ、インフラ面に関しては復興が着々と進んでいる中で、依然としてまだ地域内でのコミュニティが弱く地域住民同士の交流が少ないという課題が残っています。

こうした面を支援するために「つながりの創造、継続的支援」という理念を掲げて宮古市の津軽石地区や鉾ヶ崎地区にお邪魔させていただき、災害公営住宅を訪問してお話をさせてもらったり、公民館で楽しくレクリエーションや料理を作ったりと積極的にコミュニティを作る手助けをさせてもらっています。

代表者より一言

私たちは多様な取り組みを通じて、宮古の為にできることを考えて活動しています。より多くの経験を共に積んでいきましょう。

◆団体構成 (2019.4.1時点)

メンバー数	43人 (4年生16人、3年生12人、2年生15人)
活動場所	岩手県宮古市
活動時期	春、夏、冬の長期休み
ミーティング	週1日

◆団体連絡先

E-mail join.hamagiku@gmail.com Twitter [@chuomiyako](https://twitter.com/chuomiyako) Facebook [@chuohamagiku](https://www.facebook.com/chuohamagiku)



学童保育所で子どもに紙芝居を読み聞かせ



鉾ヶ崎地区の皆さんと万華鏡作りで交流



田老の防潮堤を視察

活動内容

メインの活動は春、夏、冬の長期休みを使い、実際に岩手県宮古市を訪問してボランティア活動を行います。それ以外の授業期間中は週に一回、みんなで集まり長期休みの活動に向けてミーティングを行い、準備をします。

〈現地での活動〉

津軽石地区や鉾ヶ崎地区でのコミュニティ支援／学童保育支援／田老「学ぶ防災ツアー」／企業訪問

〈東京での活動〉

東北の商品を扱った物産展、主に多摩地区で行います。

被災地 東北

面瀬学習支援

共に学び、共に描く、
ふるさとの未来図

理念

「学校とも家庭とも違う、子どもたちのための第3の居場所をひらく」

面瀬学習支援は、復興のため大人が慌ただしく過ごすようになった中で、地域の方の「子どもが子どもらしくなくなった」という言葉から発足しました。震災から8年が経過した今だからこそ、その影響は見えづらく複雑化しています。

先生や親という「教える・育てる」立場でもなく、友達のような「仲間・対等」な立場でもない、お兄さん・お姉さんのような「ナナメの関係」を築くことで、私たちのひらく多学年交流の場が、子どもの本音を拾う居場所となることを目指します。

代表者より一言

多くの子ども達が活動に参加してくれます!! 私たちと一緒に子ども達が第一に尊重され、のびのび過ごせるような場をつくりましょう!!



自治会館で勉強中

◆団体構成 (2019.4.1時点)

メンバー数	29人(4年生4人、3年生14人、2年生11人)
活動場所	宮城県気仙沼市面瀬地区
活動時期	年3回(春・夏・冬) 長期休暇中に1週間程度
ミーティング	週1～2回

◆団体連絡先

E-mail omose.chuo.v@gmail.com Twitter [@Chuo_omose](https://twitter.com/Chuo_omose)



勉強の合間にウノで遊びます



ふれあい農園で外遊びを楽しみます

被災地 東北

チーム女川

女川に寄り添い、共に歩む

理念

●継続的に交流促進の場を設け、住民と共に支え合いの輪を築く

震災後、女川町では過疎化と高齢化が一気に進み、また震災前の地域コミュニティが崩壊してしまっているという課題があります。私たちがイベントを開催することによってその地区のコミュニティの活性化を図ることが目的です。

●住民の人の声に寄り添い、女川の今を発信する

コミュニティ支援活動においては、住民の声に耳を傾けニーズをくみ取ったうえで活動を行い、学生と住民が相互に協力し合って形作っていきたく考えています。また、物産展活動を通して東京の人に女川の現状について知ってもらい、少しでも女川の魅力を伝えられればと思います。

代表者より一言

チーム女川はメンバーのアイディアとやる気を最大限に生かします。大学で新しいことに挑戦したい方、大歓迎です！

◆団体構成 (2019.4.1時点)

メンバー数	13人 (4年生5人、3年生4人、2年生4人)
活動場所	宮城県牡鹿郡女川町
活動時期	春・夏の長期休みなど年4回ほど
ミーティング	週に1回



集会所で住民の方と手芸で交流します



東京での女川物産展も手伝います



マルキチ阿部商店の方にヒアリング

◆団体連絡先

E-mail chuo.teamonagawa@gmail.com
 Twitter @chuo_onagawa
 Facebook @teamonagawa

被災地 熊本

チームくまもと

私たちがくまもとの為に出来ることを、いまここから

理念

私たちは2016年4月の熊本地震で深刻な被害を受けた熊本県阿蘇郡西原村の小森仮設団地、山西公営住宅と河原公営住宅で活動しています。震災から3年が経つ2019年も自宅再建のめどが立たず、県が建てたプレハブ式の、狭い仮設住宅での暮らしを余儀なくされている方がいます。また昨夏に公営住宅が完成し、仮設住宅から転居しても慣れない環境でうまく生活ができていない現状があります。私たちは住民の方たちがその土地でその人らしく生活できるように話し合いを通じて自分たちのできることを考えて活動していきます。

代表者より一言

自分たちが活動を楽しむことで西原村の方たちも楽しんでくださると思います。興味があれば連絡ください！

◆団体構成 (2019.4.1時点)

メンバー数	10人 (3年生6人、2年生4人)
活動場所	熊本県阿蘇郡西原村
活動時期	夏・冬・春の長期休暇
ミーティング	中央大学多摩キャンパスにて週2日

◆団体連絡先

E-mail chuo.team.kumamoto@gmail.com
 Twitter @CV_kumamoto



仮設住宅の自治会長さんとお話をうかがう



小森仮設住宅の集会所でお茶会



西原村のイベントで「くまモン」と交流



チーム防災

「学生 × 地域 × 防災」で
自助・共助の力を高める

理念

チーム防災は、「防災を通して、学びあい、活かしあい、高めあう」という理念を掲げ、日々の活動に動んでいます。

〇顔が見える関係を築き、自助・共助の力を高める

学内での活動に加え、日野市内での防災イベントに多く参加し、地域の幅広い年齢の皆様と活動することを重視しています。学生が地域で活動することで潤滑油のような役割を果たし、普段から地域の方々が顔を合わせる関係を構築したいと考えております。災害時に自分の命と大切な人の命を守るために、私たちは参加者の皆様と一緒に防災について学び続けます。

代表者より一言

自然災害とはきってもきれない関係にある日本で、防災を日常に取り入れる工夫をみなさんと考えていければと思います。

◆団体構成 (2019.4.1時点)

メンバー数	21人 (4年生6人、3年生5人、2年生4人)
活動場所	主に日野市
活動時期	通年
ミーティング	週に2回、お昼休みの時間帯

◆団体連絡先

E-mail teambosai.chuo@gmail.com
Twitter @teambosai



日野市平山苑の防災訓練に参加して



日野市まちづくり市民フェアで防災すごろく



チーム防災のメンバー

活動内容

日野市内の学校や自治会で、避難所運営ゲーム(災害時の避難所運営を想定し、避難者やイベントに対処するゲーム)やカエルキャラバン(楽しみながら防災の知識を学べるプログラム)などを行い、地域の皆様と一緒に日頃から防災について考える機会を大切にしています。また、チーム防災とヒゲプロデザイン事務所が共同で開発したゲーム「防災百人一首」は、多くの地域から反響をいただきました。現在、「有事の際は市民以外との協力も必要不可欠である」と考え、医療従事者や行政とも連携し活動を行っています。



りこボラ!

理系でも
ボランティアを日常に

理念

「りこボラ!」は「理工でもボランティアを日常に!」の略称から名づけられました。理系学生の中ではボランティア活動へ最初から興味を持っている人は少ないかもしれませんが。しかし理系だからこそ、地域や社会の問題に論理的・科学的に取り組み、貢献できることはきっとあるはず。また、ボランティア活動をしたときに得られる気付きや充実感を、自分だけの思い出で終わらせることは勿体ないこと。人と共有することで、考えをさらに深めることや新たな気付きを獲得することもできます。その気付きは自分の次の行動や活動に繋がるでしょう。そしてまた新たな経験をすることで新たな気付きが得られます。理系ならではの活動を目指し、経験と学びのサイクルを作ること。この考えを胸に、多くの方の支えの元で、活動を続けていきます。

代表者より一言

ボランティアは楽しく、数多くを経験し、学べる機会です。一から企画したい人、参加したい人などぜひ!

◆団体構成 (2019.4.1時点)

メンバー数	30人 (4年生1人、3年生17人、2年生12人)
活動場所	中央大学後楽園キャンパス周辺
活動時期	不定期
ミーティング	週1日+月1回



「りこボラ!」が理工学部で開催したボラカフェ



国連と中央大学のコラボ企画に参加した「りこボラ!」メンバー



認知症の啓発イベント・RUN伴に参加

活動内容

私たちの主な活動は以下の4つです。

- ボラカフェ/ボランティアで得た経験の発信と共有の場の運営をします。
- イベント企画/ボランティア初心者が参加しやすいゴミ拾いなどを企画し、活動を行います。
- ボランティア活動と紹介/大人の方や他大学生と関わりながら様々な活動を行っています。
- ボランティアセンターの学生スタッフとしての役割/多摩にあるボランティアセンターと後楽園キャンパスの架け橋としての役割を担っています。

◆団体連絡先

E-mail chuo.riko.volunteers@gmail.com Webページ <https://sites.google.com/view/rikobora/>
Twitter @C_RikoVolunteer Facebook @chuo.rikovola

中央大学ボランティアセンター2019年度 年間スケジュール表(予定)

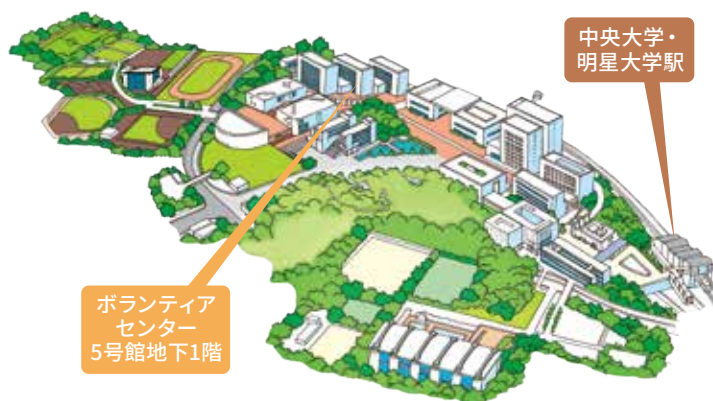
実施月	イベント・講座	学内での活動	地域での活動	被災地での活動
通年	ボラカフェ (多摩・後楽園)		防災・まちづくり・子ども・福祉・農業など様々	
4月				・公認学生団体説明会
5月	・ボランティア写真展 ・公務員になりたい人のためのボランティア講座	・クリーン大作戦・春の陣	・「ひの新選組まつり」 (まちづくり)	・新入生スタディツアー
6月	・公務員になりたい人のためのボランティア講座 ・地域を巡るバスツアー	・クリーン大作戦(後楽園) ・クリーン作戦ミニッツ	・「みんなの遊・友ランド」 (福祉)	・新入生スタディツアー
7月	・傾聴講座 ・災害救援ボランティア講座	・クリーン作戦ミニッツ		・公認学生団体決起集会
8月				・夏季ボランティア
9月				・夏季ボランティア ・夏季ボランティア振り返り
10月	・ボランティアWeek (写真展・物産展・活動報告会)	・クリーン作戦ミニッツ	・「日野市まちづくり市民フェア」(まちづくり)	
11月	・白門祭	・クリーン大作戦・秋の陣	・防災イベント	
12月		・クリーン作戦ミニッツ		・冬季ボランティア
1月		・クリーン作戦ミニッツ		
2月	・ボランティアセッション		・防災イベント ・多摩の他大学と合同イベント	・春季ボランティア
3月				・春季ボランティア

ボランティア活動を 広めてみよう!

～ボランティアセンター学生スタッフ募集～

ボランティア活動を中央大学生に広めるため、ボランティアセンターで運営する大学主催のプログラムの企画・運営のサポートや、自分たちで考えた企画を実施する「学生スタッフ」を2019年4月から募集します!

地域でのボランティア活動の推進や、海外のボランティア活動の紹介、新たな自然災害発生時の災害ボランティア対応なども、興味関心に応じて取り組んでもらえます。関心のある方は中央大学ボランティアセンターまでご連絡ください。



学生へのボランティア募集をご希望の方へ

ボランティアセンターでは、NPOや市民団体などからのボランティア募集や情報の提供を受け付けております。学生への呼びかけを希望される場合には、事前に「団体登録」のお手続きをお願いいたします。登録方法はHPをご覧ください。ボランティアセンターへご連絡ください。

問合せ先 中央大学ボランティアセンター

場所：多摩キャンパス5号館地下1階(入口は6号館地下1階) 開室時間：平日10:00～17:00 TEL：042-674-3487 FAX：042-674-3469
E-mail：chuo_volunteer@tamajs.chuo-u.ac.jp URL：http://www.chuo-u.ac.jp/usr/volunteer/
Facebook：@chuovolunteercenter Twitter：@ChuoVolunteer